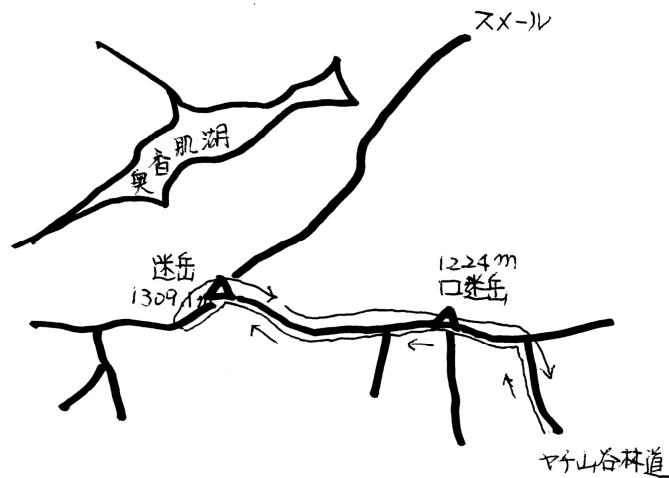


		報告書作成 愛知岳連 岡崎山岳会 金原和子			
山名[山域]	迷岳	目的[方法]	新緑鑑賞		
期 間	2007年6月2日(土)	形 態	日帰り	参加人数	2名

行動記録:

6・2(土)岩津市民センター5:30 = 豊田東 IC5:40 = 亀山 IC6:37 = 勢和多気 IC=R42=R31=宮川村=R422=大杉谷方面  
 八山谷林道入口 8:25 = ゲートP8:46 - (林道歩き) - 登山口 9:40 - 稜線上 10:25 - 口迷岳 10:35.45 - 桃の木平  
 10:56 - 見晴岩 11:13-迷岳 11:53・13:00-口迷岳 13:57 - 稜線下山 14:08 - 林道登山口 14:13 - 登山口 14:50  
 林道 ゲート P15:30・38 = フォレストヒルズ(温泉) 16:20・17:20 = 勢和多気 IC17:55=四日市 IC=豊田東 IC=  
 岩津市民センター19:35

概念図:



日誌

6・2日(土) 早朝割引を利用して亀山ICで、一旦降りるが、すぐUターンできなかったので、国道で、方向転換したら、入口が、わからず迷って2~3回うろうろしやっと本線に入ったが、様子がおかしい。  
 すぐに、SAがあったので、聞いたら、やはり、名古屋方面に乗っている。ETCが、あればそこから、出られ伊勢道につながっていると教えてもらい200円で、事なきをえる。  
 迷岳へ行く前に遭難しそうな、話である。  
 その後順調に目的地に着き身支度を整えていると地元のご夫婦が、軽トラで、到着し先行される。  
 2年前の宮川村を襲った大災害の傷跡が、ここにも残っていると、途切れた林道の説明を聞く。  
 リーダーが、問い合わせしてくれたとおり、要所に看板がしっかりと付けてありわかりやすい。  
 植林がかなり上までされており林道からはずれて稜線にのってやっと自然林の中に身を置きほっとする。シロヤシオの大木が点在する気持ちのいい登山道を楽しみながら山頂に着くとスメールから登って来た登山者で、にぎわっていた。  
 静かになった山頂で のんびりとお昼といきたかったが、風が、冷たく指先が、こごえそうな寒さで、早々と付近の探索をはじめ。満開のシロヤシオに歓声をあげながらひとしきりカメラマンもどきである。  
 1時間ほどで、下山にかかるが、静かな山を堪能できた。